



住んでいたいまち  
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの  
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします

みんなで  
ともに  
乗り越えよう

## 浪江町の復興まちづくり及び水素利活用を含めた脱炭素化に向けた連携協力に関する協定を締結

7月2日、浪江町は、丸紅株式会社、株式会社日立製作所、パナソニック株式会社、みやぎ生協・コープふくしまと、浪江町の復興まちづくり及び水素利活用を含めた脱炭素化に向けた連携協力に関する協定を締結しました。

この協定は、令和2年度に丸紅株式会社とみやぎ生協・コープふくしまが浪江町で行った「水素サプライチェーンの構築に係るFS調査(※1)」を契機として、復興まちづくり構想およびRE100(※2)産業団地建設への貢献や地域産業活性化、DX(デジタルトランスフォーメーション)化を通じて、浪江町の総合的な復旧・復興を推進することを目指すものです。

今後は、相互の連携をさらに深め、浪江町の復興まちづくりおよび水素利活用を含めた脱炭素化に向けた取組を促進していきます。

- 協力項目
- 水素利活用等による脱炭素・エネルギー事業推進によるまちづくり、RE100に向けた取り組み
  - 地域産業活性化
  - 役場庁内総合行政システムのDX化支援

※1 実現の可能性を検討するための調査のこと。

※2 Renewable Energy 100% (事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで発電した電力で賄うことを目指す取組) の略。



問 産業振興課新エネルギー推進係 TEL 0240(23)5713

## 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 第1回浪江町分科会を開催

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構では、福島復興に寄与する知見を集積・活用するため、組織的に教育研究活動を行う大学などを支援する『大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業』を実施しています。

今年度に浪江町を活動の場として採択された4大学が事業計画の説明を行う浪江町分科会を7月20日に開催しました。

町では、復興を応援する大学などと協働し、復興を支える人材の育成や地域課題の解決に取り組み、復興の加速化を進めていきます。

採択大学と事業は次のとおりです。

- 東北大学「福島浜通り地域社会フィールド実証学際拠点の構築」
- 弘前大学「浪江町の復興をフォローアップする地域人材育成のための保健・環境・防災教育プログラム」
- 立命館大学「人文社会科学の復興知に基づく標葉地域の循環型共同教育の実践」
- 東京農業大学「インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」



問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240